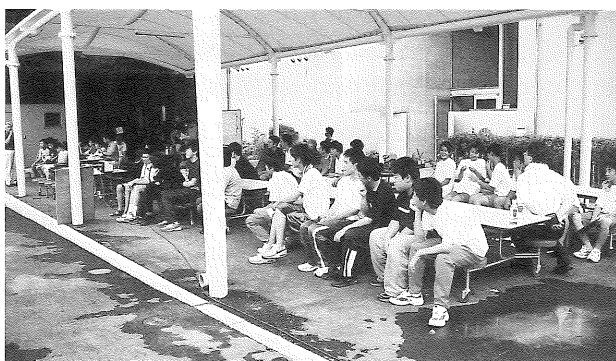


博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



開会式の模様



優勝の灘中・高チーム



準優勝の駿台甲府中・高チーム



敢闘賞の開成中・高チーム

名門私学3校砂金掘り大会開催!

～ 熱闘の結果、灘中・高等学校が優勝しました～

今夏、「私学3校交流砂金掘り大会」を開催しました。

参加校は灘中・高（兵庫県）、開成中・高（東京都）、駿台甲府中・高（山梨県）の3校で、競技方法も従来の砂金掘り大会とはまた趣向を変えた、チーム対抗交流戦として行われました。途中、雨にも降られましたが予定どおり行われ、各選手、初めての挑戦でしたが良く健闘されました。

試合直前まで、各校チームとも作戦会議で大わらわ、選手の競技順番や戦法などが練られていました。

競技中の応援も各校の特色が出て大変楽しい催しになりました。また、来年の大会にも3校から参加したいという希望が寄せられています。来年は6校くらいを予定しています。（関連記事7ページ）

地域の活性化は住民意識一つ

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

平成16年9月13日、歴史に残る3町の合併が実現しました。これまで3町には様々な固有の歴史がありましたから、大なり小なり住民には、色々な思いが交錯し、大変なエネルギーが必要だったと思います。それ等を乗りきり新町が誕生しました。これも歴史の一コマです。

これからは、身延町という新たな大きな括りの中で、魅力ある地域づくりをしませんか。

活性化は旧3町に住む住民一人ひとりの意識一つで可能になります。まず自分にできる小さなことから始めて下さい。やがて大きな結果がでるでしょう。

大切なのは町の顔（玄関口）

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館は、これまで下部町の顔（玄関口）を自認し頑張ってきましたが、これからは身延町の顔（玄関口）としての館活動が始まりました。

それぞれ旧町には固有の顔（玄関口）があったかと思いますが、それらは、全て新しい身延町の顔（玄関口）として、手を取り合って観光立町身延を盛り上げていきたいと思えます。

町外のお客さんから見た顔（玄関口）は役場でなく、観光施設や文化施設、それに地域に住む住民の皆様一人ひとりです。町外のお客さんとの、ちょっとした触れ合いが、魅力ある身延町を作り上げて行くと思えます。

まず地域の自然や歴史を知ってください

意外と「地域のことを知らない」方が多いですね。身近にありすぎて、その価値が分からない。他から見ると「なぜ」と思うケースがたくさんあります。

この際、地域（中富・下部・身延）の自然や文化（歴史）や産業などを見直すと、思いがけない発見につながると思えます。

やはり「地域を知って」、「地域に誇りが持て」、そして「地域が自慢できる」。これが活性化の原点ではないでしょうか。大人が自慢できないところへ子供は住まないでしょう。過疎化の原因

は、知らず知らずの内に大人が作っているのです。

町の宝を発見し町外からのお客さんに、その魅力を伝え続ける努力こそが大事です。

世界に通じる湯之奥金山

身延町下山から富士川を挟んだ対岸には、標高1,500m～2,000m前後の山波が見られます。その中に「蝙蝠山」と呼ばれる蝙蝠が羽根を広げた形状の山を見ることができます。「左翼・頭部・右翼」からなる蝙蝠山のこの景観こそが、湯之奥金山遺跡の歴史的景観です。実に神秘的な姿を見せています。

金山への路

この湯之奥金山への路は、車で下部温泉郷から林道・猪の頭線を進むと、およそ20分位で戦国時代から続く湯之奥集落へ着きます。その奥一帯が湯之奥と呼ばれる地域です。

この地域は、戦国から江戸時代初期にかけて、金山が栄え、金山村が形成される勢いをみせました。文献で確認できる村は、金山と完全に一致しています。中山村（中山金山）、内山村（内山金山）、茅小屋村（茅小屋金山）がそれで、この3金山を総称して湯之奥金山と呼んでいます。

200年続いた湯之奥金山

湯之奥金山の始まりは限りなく16世紀（1500年）初頭に近づくとみられます。終わりは門西家の貞享3年（1686年）金山退転文書（茅小屋金山）にみられる時期になります。

開始時期の文書は、今川氏、穴山氏、武田氏関係の文書が見られますが、いずれも判物証文写（内閣文庫所蔵）ですが、そのまま金山衆の性格を知る貴重な資料が残されています。

また門西家文書は金山が終焉していく様を克明に伝えています。まず金山村の名が文書から消えていく時期をみますと内山村（慶安3・1650年）、中山村（元禄5・1692年）、そして最後まで残ったのが茅小屋村（元禄9・1696年）ということになり、その後の文書からはその

3村は消え湯之奥村に変わっています。3つの金山村の領域が湯之奥村に包括されたことを意味しますが、これが金山の終焉期と言えます。

湯之奥は日本の初源的「山金山」遺跡

こうした歴史事実が解明されたのは、平成元年～3年の3箇年にわたり下部町が取組んだ「ふるさと創生」事業としての「湯之奥金山総合調査」でした。

文献史学・考古学・民俗学・地質学・鉱山技術などの研究者の総力が結集されての調査が行われ、結果は「日本における初源的な山金山遺跡」（金鉱石から産金）であることが明らかとなりました。8世紀に宮城県涌谷に起源をもつ「砂金」採掘に変わる鉱山技術の大きな画期になったともいえる金山でした。

甲斐金山「黒川・中山」が国指定史跡に

この湯之奥金山のガイダンス館として、平成9年4月24日に湯之奥金山博物館は開館され、同年9月には甲斐金山「黒川金山」と「湯之奥中山金山」は国指定史跡に指定されました。

金山遺跡と金山史研究の拠点として活動

このような経過の中で、日本で唯一の金山遺跡・金山史研究の拠点としての活動をしています。「公開講座」の開催は今期、36～40回を迎えますが、別掲案内の通り著名な先生方をお迎えして開講されます。

生涯学習機関としての金山博物館

以上を読みますと、すごく難しい博物館を想像するでしょう。実際、足を一步踏み入れますと、そこはイメージと違う、ホッとできる空間があります。

「子どもの居場所」づくりを進めていましたら、最近では「大人の居場所」にもなっています。

安堵感が漂う中で、生涯学習機関としての機能をもち日常活動が行われています。

展示は「分かりやすく構成」

まず、映像シアターで12分ほどの映画、ここで戦国～江戸時代にかけての産金の様子や外国へ金が流出していく様子を学びます。続くジオラマ（模型と映像）室では金山衆と呼ばれていた先端技術者の一日の生活と産金工程を6分ほどで紹介しています。

資料展示室では、金山関係資料を始め、「古

甲州金・新甲州金・江戸時代の大判・小判」（奥山家コレクション）などの現物資料を間近に見ることができます。是非観覧をお勧めします。

数々のイベントを開催

博物館では、以上の常設展示以外に、様々なイベントを開催しています。

- ①金山研究に関わる「企画展」、一般教養的な「特別展」の開催。
- ②こども金山探検隊（実際に金山へ登り体験）
- ③親子映画鑑賞会（親子の絆を深めます）
- ④砂金掘り体験（採れた金は持ち帰れます、番付けも人気です）
- ⑤砂金掘り大会（年々盛り上がっています）
- ⑥有名私学3校対抗砂金掘り大会（今年は、兵庫・灘中高（優勝）、東京・開成中高（敢闘賞）、駿台甲府中高（準優勝）でした。）
- ⑦エントランスに置かれた子供コンピューター（調べ学習）、いつでも使えます。

金山博物館では常に

『活性化』を発信しています

①黄金の国ジパングを世界遺産に

そして金山博物館だからできる運動を起こしています。「東国の金山遺跡と黄金文化」（黄金の国ジパング）の枠組みでの湯之奥金山の世界遺産登録運動です。今年度の公開講座も「世界遺産」を視野に入れたテーマで開催します。実現したら地域を超えた大変な観光資源になります。こんなに素晴らしい文化（歴史）遺産は自慢すべきです。

②富士川流域を広域的に包み込む

夢空間「富士川流域王国」を提案

これは金山博物館周辺から民間レベルで提案している構想ですが大きな視野で「観光プログラム」「学習プログラム」を組立てるものです。

これまで、観光地といえば「富士山麓」とか「八ヶ岳山麓」ですが、これに「富士川流域」を加えるというものです。流域には多くの自然、文化（歴史）、産業遺産がありますから、住民がその意識をもつだけでも素晴らしい観光地になるでしょう。

YAHOOで「富士川流域王国」を検索してみてください。「王国日記」が見られます。活性化の素材はたくさんあります。

活動報告

木喰微笑仏寄託展示

7月8日(木)

江戸時代に生きた木喰上人は、1718年に生まれ22歳で出家、45歳の時に「木食戒」という、肉食と穀物を断ち木の実や草だけを食するという厳しい戒律をたてて、以後長い宗教活動を続けました。56歳になってから自分探しの旅を始めましたが、その天寿を全うする93歳まで、北海道から九州まで日本全国を行脚し、その際“木喰仏”と言われる、独特のおだやかな微笑をたたえた仏像を1,000体作製するという目標を掲げて彫り続け、各地に残した修行僧です。

この木喰仏に魅せられ研究する人も多いのですが、仏像は全国各地で確認されており、中には生の大木に彫られたものさえありました。これらの仏像は上人の足跡を知る手がかりであり、木喰上人研究者の間でも重要な資料となっています。上人誕生の地である下部・丸畑の見晴らしのいい高台にある木喰微笑館では上人の波乱に満ちた生涯を紹介しています。そんな木喰上人を取り上げたテレビ番組が10年前に制作・放送されました。テレビ山梨(UTY)で記念番組として放送されたもので、その際、木喰仏のレプリカも作られ、番組放送終了後は山梨県立

考古博物館に展示されていましたが、このほど木喰上人生誕の地へということから、UTY厚生文化事業団から、木喰微笑館に27体と金山博物館に7体、計34体を寄託していただき展示されました。

今、博物館のエントランス入口に7体の微笑仏(馬頭観音、千手観音、子安観音、十一面観音、聖観音、如意輪観音、自刻像)が展示されていますが、来館したお客様をその独特な温かい微笑で迎えてくれますので、ご来館の際には目を向けてみてください。またちょっと手を触れて木喰仏の木の温もりを体感してみてください。



学芸員実習・インターンシップ受け入れ

7月29日(木)～

職場体験研修の一環として、各校で行われているインターンシップ研修制度。博物館では研修生受け入れを行っています。今年の夏も地元峡南高校から2年生2人、3年生2人の計4人の生徒が、5日間の研修にやってきました。

また、今年は同時期に山梨英和大学から学芸員実習生が1人、峡南高校の先生が3日間の研修に1人、最も多い日で6人という、いつにな

り賑やかな実習となりました。

時期的には夏のイベント最盛期のため、館内業務の流れを一通り学習した後は、イベント準備の体験が主な仕事となりました。それぞれ研修プログラムは異なるものの、こども金山探検隊プログラムなどを通じ、課題を履修、成果があがりました。

下部中学校夏季課外学習

8月中

今年で2年目になる地元・下部中学校の夏休み課外学習が行われました。夏休み期間中に館内見学して、金山に関する問題の書かれたプリントを穴埋めする形式の夏休み課題です。

ここ近年、遠足や県内研修、また出前博物館

や親子レクリエーションなどの利用が増えている中で、より多くの学校でこうした利用を考慮していただき、博物館も学校側と打ち合わせをしながら学習ニーズに合わせたプログラムが組めるよう、対応していきたいと考えています。

第4回 こども金山探検隊

7月31日(土)～8月1日(日)

今年で4回目のこども金山探検隊。日程も夏休みが始まってすぐの週末2日間、そして隊員は地元・遠方から合わせて定員の20人、そして保護者17人、合計37人での開催となりました。

例年1日目は湯之奥金山遺跡への登山、そして2日目は灰吹き・甲州金作り作業がメインプログラムとなりますが、博物館の夏休み事業というと何かと気にせずにはられないのが天候。なんと今回も台風10号によって遺跡見学会は中止になってしまいました。登山がメインだけに参加者の落胆も大きかったわけですが、遺跡現場に行けない代わりに、午前中は以前の現場見学会の記録ビデオによる学習や、砂金採り体験室での体験などを含めたオリエンテーションを行い、昼食を挟んで午後から粉成作業を行いました。

鉱石を砕き臼で磨り潰すこの作業も、テントの下で行いましたが、途中晴れ間が出たり激しく降ったりする台風特有の雨にも負けず、隊員みんな夢中になって一所懸命ハンマーを振っていました。自分の鉱石を磨り潰した隊員は今度は汰り分け作業に移ります。自然金ですからとっても小さい粉のような金粒ですが、それでも取れるととても喜んでいる様子が分かりました。



粉成作業から夕刻のバーベキュー大会まで、1日目の日程を何とか無事に終えることが出来ました。今回はバーベキューの手伝いには温泉郷内のご婦人がお手伝いとミネラルウォーターの差し入れがあるなど、地域からの応援に大変感動しました。

2日目は天候も回復し、屋外での灰吹き作業も全く問題なくスムーズに進めることが出来ました。2日目の灰吹き作業は、ケース作りも極印打ちも全体を通して隊員だけでは難しい作業が多く、保護者との共同作業が必要とされまし



たが、お父さんやお母さんの出番も多かっただけに、隊員である子どもと共に汗を流したことが思い出に残ったことでしょう。

今回使用した金の地金は3g。例年の1gと比べると格段に大きな金粒で、大人も子供もこの輝きに夢中になったようです。灰吹きで丸くなっていく金粒を目を輝かせて見つめていました。

極印も今回は本物さながらの「五三の桐紋」を始め4種類を用意し、それぞれに好きな極印を自由に打ち込んでいきましたが、ここはお父さんたちの出番。思ったところに上手く極印を打つことが意外と難しく、「ここ？ここでのいいの」「いいね？知らないよ」などと親子で互いに声をかけながら、出来上がってみると今度は「ずれた～」、「上手い上手い」などと、親子の歓声が聞こえました。出来上がりの感想はそれぞれでしたが、隊員全員が作り上げ、お手製ケースに入れ満面の笑みを浮かべていました。

作業がすべて終わったところで修了式が行われ、谷口館長から、好評の小松学芸員手作りの「巻物」修了証書と参加賞が隊員一人ずつに手渡されました。参加した隊員にとって、夏の良い体験となったことでしょう。



第4回 砂金掘り大会

8月7日(土)

8月7日の土曜日、湯之奥金山博物館杯・第4回砂金掘り大会を開催しました。今年はちょっと趣向を変えて午前一般の砂金掘り大会、午後には有名私学3校交流砂金掘り大会という2部構成で、博物館専用駐車場（イベント広場）を競技会場として開催しました。



砂金掘り大会も回数を重ね、大会自体を楽しみにしているファンも多く、大人子供合わせて100人近い参加者が県内外から集まり盛況でした。全く初めての人、毎年大会を楽しみに来る人などレベルは様々でしたが、全体的に少しずつ技術向上しているようでした。

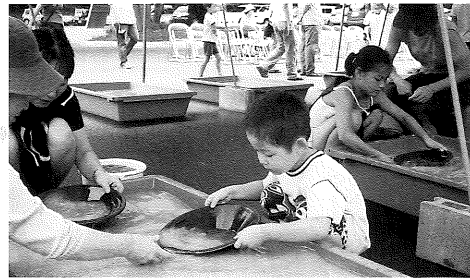
また、今年は博物館友の会のメンバーがボランティアでタイムキーパーをはじめ、水替えや砂出しなどの裏の作業を率先してやっていただき、スムーズにプログラムを進めることが出来ました。

各部門ともに第1位から第3位まではメダルと表彰状、そして下部町商工会の協賛をいた

き温泉会館無料入浴券が渡されました。その中で最も成績の良い総合優勝者には副賞として「下部の味覚特産品セット」が用意されました。そしてこの総合優勝の栄誉を手にしたのは静岡県のベテラン部門で第1位を獲得した天野直人さんでした。

この砂金掘り大会、もちろん来年の夏も開催いたします。日々の修練の成果を発揮するこの機会を是非多くの人に楽しんでもらいたいものです。

今年の大会結果は次表の通りとなりました。



ジュニアの部 (9粒)							
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	原口勝成	9	12:31	21	望月裕希	5	31:39
2	木内香奈	9	13:04	22	内藤裕稀	4	31:39
3	三枝万人	8	13:30	23	大森雄一郎	4	32:18
4	野中翔太	8	15:02	24	川崎義碩	4	33:48
5	岩松芽衣	7	17:56	25	亀井大輔	5	34:30
6	田代祐介	8	19:21	26	関谷智宏	5	34:38
7	森永将裕	7	19:34	27	原 朝	5	35:00
8	池田淳一	7	20:09	28	中村 司	4	37:47
9	山本直輝	7	21:16	29	小澤直斗	4	39:18
10	旭 洋平	6	22:01	30	松原ゆうま	4	39:36
11	滝沢真由子	6	24:23	31	長沼宏樹	4	39:38
12	石川一寛	7	24:37	32	中込野乃花	4	39:58
13	佐藤ゆき	7	24:43	33	田辺 怜	3	40:13
14	望月信志	6	24:53	34	矢野 厚	2	41:50
15	岩松 匠	6	26:29	35	佐藤ももか	3	45:00
16	森田 ゆうき	6	28:58	36	有賀丈彦	3	45:00
17	佐藤こうた	6	29:18	37	曾根真伍	1	53:18
18	谷崎智史	6	29:43	38	山岸泰斗	6	TIME UP
19	佐藤 良	6	30:00	39	大塩香織	0	TIME UP
20	瀬沼 なつみ	6	30:00				

男女初心者の部 (9粒)							
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	小山道生	9	11:28	14	渡辺聡美	7	21:15
2	望月 淳	8	12:33	15	新谷美鶴	6	23:25
3	一瀬 けい子	9	13:01	16	曾根健司	6	26:37
4	遠藤貴之	9	14:30	17	勝野元郎	6	27:34
5	杉本つや子	8	15:01	18	杉本 勝	5	30:43
6	原口静香	8	15:07	19	一瀬 仁	5	30:56
7	天野真澄	8	16:44	20	西海秀人	5	31:08
8	山口昌教	7	17:03	21	井上洋子	5	34:32
9	小山 やよい	8	17:20	22	井上ひろあき	5	34:45
10	滝沢美穂	7	17:42	23	井上誠二	5	34:55
11	曾根多恵	8	19:11	24	勝野美恵子	2	47:36
12	西海真紀	8	19:19	25	遠藤博之	5	TIME UP
13	新谷恒人	7	19:47				

男女ベテランの部 (11粒)							
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	天野直人	11	5:09	9	野村敏郎	7	23:26
2	石部直樹	11	6:49	10	川原敏夫	7	23:53
3	寺澤保夫	11	7:12	11	高田克彦	6	30:04
4	吉田 寿	11	7:51	12	広瀬義朗	5	33:19
5	大森直之	10	8:50	13	曾谷英輝	4	41:11
6	牛島敏博	9	13:26	14	中川 清	3	42:40
7	原澤英美	8	21:15	15	板村英明	1	52:09
8	近藤直美	8	21:48	16	桃岩カン平	0	57:16

灘VS開成VS駿台甲府 3校交流砂金掘り大会

8月7日(土)

午前中の砂金掘り大会を終え、午後2時から「有名私学3校交流砂金掘り大会」を開催しました。兵庫からは灘、東京から開成、山梨からは駿台甲府の各校が10人の中高混成チームで出場しました。

このイベントは博物館としても今回初めての試み。チーム戦獲得点数制で、ルールなどもすべて館独自のものでしたから、もちろん競技選手として参加した生徒も初めてのことでした。

それでも様子や雰囲気をつかんでおこうと、中には午前中の一般大会に参加した生徒も多かったです。

交流大会の初戦は個人戦(5人)で、先鋒戦から大将戦まで8分間一本勝負で5戦行い、そして後半の団体戦では各校5人一組でリレー方式の30分一本勝負を行いました。途中の選手間のやりとりや応援もそれぞれに特色があって面白いものでしたが、この大会の頂点にたったの

は灘チーム。灘チームには優勝の賞状とトロフィーが、準優勝の駿台甲府チーム、敢闘賞の開成チームにもそれぞれ賞状とトロフィーが贈られました。午前中はなんとかもっていた天候も、午後にはぽつぽつと降り出してきましたが、各校選手それぞれに自校の選手を応援し、競技もよく頑張ってくれました。

交流戦の順位結果は次の通りです。



円陣を組んで気合いを入れる駿台甲府チーム

個人戦 学校名	先鋒(10粒)	次鋒(7粒)	中堅(9粒)	副将(9粒)	大将(10粒)	合計得点
灘	池田 淳一 3点	山本 直輝 2点	森永 将裕 1点	関谷 智宏 2点	田代 裕介 2点	10点
開成	伊藤 玄悟 1点	溝江 将 3点	八重樫 諒 2点	牧野 久織 1点	吉野 匠 1点	8点
駿台甲府	川崎 義硯 2点	中込野乃花 1点	望月 信志 3点	原 萌 3点	石川 一寛 3点	12点

団体戦 学校名	1	2	3	4	5	採取金粒 合計	獲得 ポイント	残り時間による 調整点数	合計 ポイント
灘	池田 淳一	森永 将裕	矢野 厚	田辺 怜	山本 直輝	18粒	15点	3分=3点 (26:21:95)	18点
開成	宇野 貴博	陣内 凱	黒松 雅勇	柿本 卓志	伊藤 大修	14粒	5点	0点 (29:46:30)	5点
駿台甲府	野中 翔太	亀井 大輔	三枝 万人	小澤 直斗	遠藤 貴之	18粒	10点	1分=1点 (28:43:20)	11点

個人戦獲得点+団体戦獲得点=最終得点

灘	10 + 18 = 28点
開成	8 + 5 = 13点
駿台甲府	12 + 11 = 23点

表の見方と、ルールの簡略説明

- ※ 個人戦各戦()内は混入砂金数。個人戦は各試合砂6kg、制限時間8分とし、1位3点、2位2点、3位1点を獲得することができる。
- ※ 団体戦は各チーム5人一組で30分リレー方式。各選手のパケツの砂は全て5kgとし、どのパケツに幾つ砂金が入っているかは分からないが、チーム全体で20粒の砂金が混入されている。団体戦では1位が15点、2位が10点、3位が5点を獲得し、残り時間1分につき、1点のボーナスポイントとして加算したものが取得点になる。個人戦・団体戦で獲得した総取得点数で順位を決定する。

平成16年度運営委員会

8月18日(水)

去る8月18日、平成16年度運営委員会が召集され、博物館の現状や運営について協議されました。

合併直前ということで、下部町としては最後

の運営委員会となりましたが、先生方には引き続き当館の運営委員をしていただくということで、了承をいただきました。

有料入館者13万人目達成

8月19日(木)

ここ4～5年博物館の有料入館者は増え続け、砂金採り体験においてはリピーターが非常に多くなってきており、今年の夏休みも大勢のお客様で賑わいました。

そんな8月のお盆休みの午後、有料入館者13万人目をお迎えすることが出来ました。

今回この幸運にめぐり合ったのは、東京在住の原田園彦さん、春代さんご夫妻。お二人は還暦の記念に旅行でもしようということでの下部温泉に来湯、そして博物館へ立ち寄ったそうです。

受付でチケット購入後、「おめでとうございます。13万人目の入館者にご当選されました。」と告げられ、谷口館長から花束と記念品を手渡された原田さんは大変驚いていました。この様子は町内ケーブルテレビSCTで放送されましたが、この13万人目の瞬間を撮影するためにス

タンバイしていたテレビカメラに対して、春代さんは「実は、カメラが来ていたので一体何事だろうと思って入っては来たんですが、まさかこんな事になろうとは思ってもありませんでした。」とおっしゃっていました。

後日、原田さんに特製金箔記念入館証を送らせていただいたところ、折り返し心のこもった礼状を頂戴いたしました。

有料入館者記念品贈呈の様子を撮影した写真は博物館売店内に掲げてありますが、今回で13枚目の記念写真が飾られることになります。

一枚また一枚と写真が増えていくことは博物館にとっての歴史が増えていくことでもあり、また職員にとっても来館して下さったお客様が、いつでも楽しんで満足していただけるよう改めて心がける大事な一区切りでもあります。

「おーいニッポン! 山梨県」で金山衆?

9月5日(日)

9月5日の日曜日、NHKBS2で手がけた大型番組「おーいニッポン! 山梨県」が朝10時から約9時間の番組として放送されましたが、ご覧になった方もおられるのではないのでしょうか。

番組の趣旨は、山梨のすごいものを集めてそれを一挙に紹介してしまおうということで、県内各地の人々に協力してもらい、ひとつの番組を作り上げるというものでした。その中で、すごいもののひとつとして甲斐の金山、金そのものが取り上げられることとなり、湯之奥金山博物館は総出演となりました。

そのコーナーの中で戦国時代風に飾られた特設会場に砂金採りコーナーが設けられ、その中で金山奉行や砂金を採る掘子役をしてほしいというNHKの要請をいただきました。参加者募集はホームページ上で行いましたが、25人の博物館友の会の方々がご協力くださいました。

みんなを砂金集め、その砂金を溶かして固めて甲州金のような粒金にし、番組名の「おー

いニッポン!」という極印を打ちオリジナル金貨を作ってしまうという企画。

参加者は全員時代衣装に着替え、スタンバイ。武田信玄役の武藤敬司さんと、お姫様役の島崎和歌子さん、そして総司会の中谷文彦アナウンサーとの掛け合いで番組は進んでいき、いよいよみんなの出番です。

着物姿の25人が並んで砂金を採る姿はなかなか見応えがありました。その中で小松学芸員は島崎さんに砂金採りを指導。中谷アナウンサーや島崎さんの、掘子役の皆さんへの合間のインタビューや掛け合いも面白かったですね。

さて、集まった砂金を溶かす役は高岡伸五友の会会長でしたが、金の輝きは誰にでも魅力的なものに映るようで、炎で溶けていく金の様子に中継でつながっているスタジオのゲストも感嘆の声を上げていました。見事にひとつに固まった金粒に武藤さんが気合とともにハンマーを振るいましたが、プロレスラーですから力は十分、きれいに極印が打ち込まれました。

生放送でしたから、リハーサルと多少の変更はありましたが、約20分間の金コーナーは無事終了しました。

早い時間の集合だったにもかかわらず、出演した皆さんは「いい思い出になりました」と満足してくれたようです。



戦国時代にタイムスリップ

館からのお知らせ①

平成16年度公開講座がスタートしました

平成16年度公開講座、今年度の大テーマを『産金技術と金』がもたらしたもの～世界遺産登録へ向けた「黄金の国ジパング」の深層を探る～とし、来年の3月まで、毎月諸先生方にご講演をいただきます。多くの皆様のご聴講をお待ちしております。

※気象条件や講師の都合により日程が変更されることもありますので、その都度博物館へお問い合わせのうえ、ご来館ください。また、講師の都合により演題が変更されることもあります。

※10月9日開催予定だった第36回公開講座は台風のため来年3月4日に変更になりました。

『産金技術と金』がもたらしたもの

～世界遺産登録へ向けた『黄金の国ジパング』の深層を探る～

第36回	11月13日(土) 江戸幕府の天領政策と鉱山経営 — 金銀山は天下のやま — 法政大学名誉教授 文学博士 村上直 (川崎)
第37回	12月11日(土) 日本の大開発時代を考える — 石見・佐渡・甲斐、人と文明の交流 — 筑波大学名誉教授 文学博士 田中圭一 (佐渡)
第38回	1月22日(土) 武田信玄の駿河進攻と甲斐・駿河の金山 静岡大学教育学部教授 文学博士 小和田哲男 (静岡)
第39回	2月5日(土) 産業遺産としての日本の金銀山 — 石見銀山の世界遺産登録をめぐる — 独立行政法人奈良文化財研究所主任研究官・学術博士 村上隆 (奈良)
第40回	3月4日(土) 自然遺産・文化遺産の保護と活用 — 世界遺産のあり方を考える — 千葉大学名誉教授 工学博士 (勲)日本自然保護協会理事長 田畑貞寿 (東京)

これからの博物館イベントのお知らせ

第8回特別展「富士川流域・魅惑の自然遺産と富士川発見の古甲州金展」

期日：平成16年10月21日(木)～平成17年1月11日(火) 場所：湯之奥金山博物館多目的ホール

共催：峡南地区広域事務組合・富士川流域 Dream 学会・湯之奥金山博物館

富士川で発見された甲州金を中心に富士川流域の砂金、合わせて富士川流域の美しい自然の景観を捉えた数々の写真を同時展示。観覧無料です。

親子映画観賞会

好評の親子映画観賞会、年内の日程は以下の通りです。各回とも開催日の一週間前から申し込み受付しております。観賞ご希望の方は博物館まで御連絡ください。

※上映作品未定。詳細はチラシ、管内放送にてお知らせいたします。

第24回 平成16年11月27日(土) 午後6時～ 第25回 平成16年12月18日(土) 午後6時～

秋の遺跡見学会

登山に一番いい季節が今年もやってきました。博物館では「秋の遺跡見学会」を開催予定です。今年は湯之奥・中山金山遺跡。戦国時代の鉱山遺跡を自分の目で見てみたいと思いませんか？

※気象条件などから予定を変更することもあります。

期日：平成16年11月中旬 定員：15人

伝統技術を学ぶ～ネコザ編み教室～

文化や伝統から生まれた先人の知恵と技術を知るには、まず自分で実践してみることが大事。かつて砂金採取のために使用されたネコザの編み方を習ってみましょう。

期日：平成16年12月初旬～中旬

※各イベントの詳細日程などは後日、ホームページ上、またチラシなどで周知いたします。

館からのお知らせ②

平成16年9月13日、下部町は、身延町、中富町との3町合併により身延町となりました。この合併に伴い、博物館の住所表記の変更、ホームページアドレス、メールアドレスが次のように変わりました。

住所：〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

URL：http://town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

メールアドレス：kinzan@town.minobu.lg.jp

TEL：0556 (36) 0015 FAX：0556 (36) 0003

博物館日誌 (平成16年7月～9月)

日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
茅小屋金山遺跡現地草刈	木喰微笑レブリカ展示公開・久那土小5年出前博物館	『旅行読志』取材	館内機器メンテナンス・清掃作業	『館だより29号』発行	久那土小5年親子レクリエーション・都留文科大学校外授業	海の日	茅小屋金山遺跡現地の橋架け・館内機器メンテナンス	山梨県文化財審議会研修	西桂教育委員会、丹波山村議会来館	夏休みブレゼンテーション 於・地場産業センター	NHK「その時歴史が動いた」甲州金撮影
31	8	31	8	31	8	31	8	31	8	31	8
第4回子ども金山探険隊1日目(台風のため現地見学会は中止)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)	学芸員実習初日(山梨英和大学学生1人)
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
こども金山探険隊2日目(甲州金作り)	峡南高校インターシップ2年生最終日	砂金採り大会用テント張り	第4回砂金掘り大会・3校交流砂金掘り大会、	UTY、NHK取材・放送	3校私学灰吹実験	UTY「ニュースの星」木喰微笑仏取材・放送	NHK「おいしいニッポン」撮影『じゃらん』取材	NHK「おいしいニッポン」撮影『じゃらん』取材	夏休み映画観賞会	有料入館者13万人達成、貸館事業・南COMAビーズ教室	NHK打ち合わせ、富士川流域王国第1回準備会、
28	9	28	9	28	9	28	9	28	9	28	9
貸館事業・南COMAビーズ教室	館内空調メンテナンス	下部町閉町記念式典	JAGETトボール大会	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
NHK「その時歴史が動いた」放送。	「おいしいニッポン」山梨県、リハーサル 於河口湖	久那土小3年親子レクリエーション	「おいしいニッポン」山梨県、放送 於河口湖	スカイパーフェクトTV取材撮影	山梨県教育事務所長会来館	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典	下部町閉町記念式典
14	9	14	9	14	9	14	9	14	9	14	9
愛知県蓬萊寺山自然科学博物館 視察	敬老の日	秋分の日	貸館事業・南COMAビーズ	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
20	9	20	9	20	9	20	9	20	9	20	9
秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
23	9	23	9	23	9	23	9	23	9	23	9
秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
25	9	25	9	25	9	25	9	25	9	25	9
秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
28	9	28	9	28	9	28	9	28	9	28	9
秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
30	9	30	9	30	9	30	9	30	9	30	9
秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日	秋分の日

編集後記

あれだけ暑かった夏も終わり、気がつけば周囲はすっかり秋色が深まって紅葉の見ごろも間近です。

本栖湖から下部温泉に向かって降りてくる国道300号線の紅葉は本当に綺麗なんですよ。九

十九折なので山道を走り慣れていない人はちょっと敬遠しがちな道ですが、ゆったりと走れば問題なしです。お天気のいい日にドライブしながら、博物館へ遊びに来てください。

また、夏とは一味違う、秋のイベントも予定しておりますので、楽しみにしてください。

博物館だより

第30号
平成16年10月15日

発行 〒409-2947 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556 (36) 0015
FAX 0556 (36) 0003

博物館ホームページアドレス http://town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

博物館Eメールアドレス kinzan@town.minobu.lg.jp